

製品名: TIAM2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02690**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 190 kDa; Observed MW: 190 kDa

抗原情報

遺伝子名	TIAM2
別名	STEF; TIAM-2
遺伝子 ID	26230
SwissProt ID	Q8IVF5
免疫原	ヒト TIAM2 の組み換えタンパク質

背景

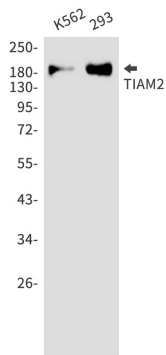
RHO 様タンパク質の活性を調節し、細胞外シグナルを細胞骨格活動に結びつける。GDP 解離刺激タンパク質として作用し、RHO 様

GTPase の GDP-GTP 交換活性を刺激して活性化する。細胞外ラミニンシグナルを媒介して Rac1 を活性化し、神経突起の成長に寄与する。胎児海馬ニューロンのラメリポディア形成および成長円錐の発達に關与する。大脳皮質におけるニューロンの移動を促進する。過剰発現すると、変化した細胞膜に沿ってアクチンフィラメントが蓄積し、膜の波打ちを引き起こす。RAC1 を特異的に活性化するが、CDC42 および RHOA は活性化しない。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



TIAM2 抗体を使用した K562、293 溶解物中の TIAM2 のウエスタンブロット分析。